立教大學新聞
豊島区池袋[illegible]
立教大学新聞学会
振替東京 70852
電話 (97)3121—9
内線 71
編集兼印刷発行人
野口定男
毎月廿日発行

サブリナ
Coffee & Music

級委員会新役員きまる

〃学生会館の設立を〃 横山新委員長語る

横山委員長

伊藤副委員長

松柳副委員長

田村副委員長

第一回評議委員会が、去る四月二十七日（金）午後三時より五十五番教室で開かれた。席上、学部長の挨拶があり、村山旧委員長、向井旧議長の辞任の挨拶があつて討議に移り役員改正の件が提出され、始めに副委員長三名、田村温褒（経三年）松柳隆一（文三年）伊藤裕康（経二年）君を選出し、ついで新委員長に満場一致で横山久臣君（経三年）が選ばれた。そして今後の新役員の活動を期待して散会した。

第一回評議委員会は、まず村山前委員長から「半年この仕事を担当してきたが、無力で満足すべきなにものも出来ずに終つてしまつた。今度の役員に期待すること大である」との辞任のあいさつで、経過報告、会計報告が行われ、直ちに役員の改選に移つた。この選出方法として立候補制がとられ、四人が立候補（うち二人は推薦）した。立候補と推薦のとり扱い方をどうするかが問題にされ、同等に扱うことになつた。各々の演説のあと、投票が行われ、田村、伊藤松柳の三君が選出された。ついで委員長の選挙にはいり、立候補者が一人も出なかつたため、推薦により横山久臣君が満場一致で新委員長に決定した。

なお今回から学部委員を選出することになり、経済学部委員長に竹内肇君、副委員長に三橋正明君、文学部委員長には溝上修君、副委員長に根木敏郎君が決定したが理学部委員長、副委員長は未定である。

横山委員長談　一般学生はクラス委員会に対してあまり関心をもつていないようだが、当委員会で何が行われているか、いつも見守つていただきたい。抱負としては、あまり大きな課題をいくつも持つても、ゴタゴタして結局実行出来なくなつてしまうので、学生の身近かな問題から着実に解決していきたいと思う。また今後の具体的なプランとしては、時に講演会を持つたり、ゼミナール全国派遣大会を考えている。全学連の参加は余り関心をもつていないが、色々研究して関心を高めていきたい。学生部とは、まず学生会館の設立について話し合つてみたい。また厚生担当の新役員はアルバイト問題についてであるが、なんといつても勉強第一なので春期、夏期休暇を利用してのアルバイトを主に開拓していきたい。

意外に多い胸部疾患

昨年度の統計発表さる

診療所ではこの程、学生の有所見者（胸部レントゲン撮影の結果病気のある者）の統計を学年学部別に左表の通り発表した。これは昨年度の統計なので、現一年生のは含まれていない。なお、来る二十一日（月）より六月七日（木）まで春期綜合身体検査が始まるが日程は次の通りである。

二十一日—二十四日　二年
二十八日—三十一日　三、四年
四　日—七　日　一年

なお、診療所ではこのような結果が、現れたのは、学生の身体検査に対する熱意がたらないからで、毎年二回行われる定期身体検査は胸部疾患の有無を知るためにも大切な行事であるから、進んで望んでほしい。また、とくに三、四年生は専門科目の授業なのであらためて時間をもうけてはいないが、指定日には必らず受けるようにしてもらいたい。と云つている

【図表は昭和三十一年三月三十一日現在】

学年	学部	要注意	要監視	要休養	計
I	圣	1	27	7	35
	文	4	8	0	12
	理	1	1	2	4
	小計	6	36	9	51
II	圣	11	30	6	47
	文	5	10	1	16
	理	1	1	0	2
	小計	17	41	7	65
III	圣	8	19	6	33
	文	4	8	1	13
	理	0	1	0	1
	小計	12	28	7	47
IV	圣	18	35	7	60
	文	1	10	2	13
	理	0	0	1	1
	小計	19	45	10	74
総計		54	150	33	237

総長十七日に帰國

教育行政の視察を終えて

去る四月八日夜、アメリカ各地の教育行政の視察に出発した本学総長松下正寿氏は、四十日にわたる視察の旅を終えて、来る十七日八時半桑港より羽田空港に帰国の予定である。

この度の総長の渡米は、出発に際して語つたように、米国各地の教育行政制度の視察ならびに本学の将来に関する米国聖公会との話し合いが目的であるが、去る四日教授室で原子炉委員会が開かれていることからも話題の原子炉問題についても何等かの具体的な前途が見られたものと思われる。

渡米中、総長より学校側へは簡単な通信があつただけで、総長渡米の成果については学校当局も詳しい発表をさけている。

なお来る二十三日午前五時半より上野精養軒で総長帰国の歓迎会が催される。」

教育同盟総会

キリスト教教育同盟会総会が、来る二十九、三十の両日、学院を会場として開催される。参加校は本学を始めとして青山学院、東洋英和、プール学院等七十二校に上り、学校行政、教育上の問題について懇談する予定。

論説

級委員会の清新潤
なる活動をのぞむ

恒例の級委員会の役員改選が先月の末におこなわれ、学生諸君が仲間達の中から選び出した代表のもとに、執行部を形成する新役員が決つたわけである。学生自治会といわれるもののない立教大学にあつては、この級委員会が学生諸君の利害をもつとも強く反映する唯一の機関であり、立教の学園生活をおくるからには片時たりとも忘れえぬ存在であるべきものだ。常に全学生の利害と希望の代弁者を務めんとするわれわれも、そのおかれている立場の共通性から、級委員会には全幅の協力を惜しまぬものであり、新年度の級委員会執行部および委員諸君の清新闊達なる仕事振りを期待している。

しかし誠に残念ながら過去の委員会の活動は低調そのものであり、学生からは全く忘れさられている存在であつたと観るのは、当らざる言句であろうか。そればかりではない。今回の新委員選出に際しても立候補制をとる三・四年の状態は無競走という沈滞したもので、二年生委員の選び出されてきた過程とか、一年生委員の大学側指名選出制を考えあわせるとき、級委員会の前途を手放しで任せきるわけにはいかないのである。この低調さが執行部役員の選出にそのまま波及して、かなり小細工を労した工作がみられる結果を招来し、心ある学生に不安の念を抱かせているのだと思う。

それでは、毎年いつこうに改められていない級委員会の不振と低調さは、どこに原因があるのであろうか。末梢的な点に立入れば十指に余る原因が多々分析されようが、根本的には一般学生と委員会の行動が全く遊離していることが挙げられよう。全学生の声を基盤として成り立つ級委員会が、実質的には活動に充分なる学生の支持を得ていないということになれば委員会は致命傷を得たに等しい。

われわれは級委員会がこんなにまでも心細いものだと考えたくはない。また形式的には全学生の支持のもとに活動を展開しているとみることができる。しかしながら教室や校庭で肩をくむ学生と級委員会本部でデスクを囲む委員達との間には、何故かしつくりいかぬ溝が横たわつている。こうした学生一般と級委員会との遊離状態を派生させているものは何であるか。実に歴然たるただ一つの回答がある——学生のあまりにも低い自治意識だ。この自治意識の低調さは、各方面から聞かれることであり、本紙でも度々述べてきたごとく、自己を安易に泳がせておけば事なしとする逃避性ともみるべき考え方である。口で理想論を兼行し、理論的展開法をこまねいてばかりいても実行に移さなければ、害あつて益なき結果をみるだけである。委員が真剣に学生の為に働きまわる——また学生達は代表の委員を心からおくり出す——このきわめて当り前で単純な組織構成に、お互いが責任を充分にわきまえた行動をとることこそ必要なのであつて、これが徹底しないという不忠議さは、民主主義を標榜する社会に生きる学生として恥辱以外の何ものでもない。まして級委員会の活動に傍観的であるばかりでなく、委員会の会合に顔も出さぬという級委員にいたつては言語道断もはなはだしい。

新年度の級委員会のスタートを前に、われわれが強く要望することは、委員会が抱負とともに企図している運営方針及び改善案など多々あることと思うが、新委員の一人一人が自己の立場というものをよく自覚し、責任をもつてもらいたいのである。さらには誇りを感じてもらいたいのである。誠心誠意学生につとめるという奉仕の精神も忘れてもらいたくない。新級委員諸君はすでに学生の支持を得ているとみてよかろう。これは諸君の全学生の代行者としての有能さをかわれたのであるが、おもいあがつた考えは一分たりとも持つてもらいたくはない。学生の先頭に立つているのは諸君である。しかし委員諸君をもりたてて進んでいるのは一般学生である。委員だけが勝手に方向をとつたり、先ばしつては学生はついて来ない。今年度から組織面強化ということなどに意味あいを持たせて、各学部別の運営がおこなわれるようであるが、委員の独りよがりと全学生の自覚がたかめられねば、すでに学部別制を採つている二、三の大学でみられるごとく、再び後退の憂きをみなければならないであろう。

一般学生も級委員を選んでしまえば全て終りだなどとゆめゆめ考えることなく、常に支持と要望の声を級委員会に反映させるべきだ。従来の〃立教ボーイ〃という付さは、いつかは笑いものになるであろう。

本学生も多数参加

第二十七回統一メーデー

第二十七回統一メーデーは新緑の森に囲まれた神宮外苑絵画館前広場に於て、戦後最大といわれる約五十万の労働者や学生を集めて、華やかに行われた。

この日、都内の大部分の大学と共に、本学でも女性六・七名を加えた約七十名の学生が立教大学と書いたプラカードを掲げて参加した。彼等の手には紫地に映ゆる十字の立教の校旗がひるがえり多数の学生はほこりのたつ中を、学生服を茶色に染めてジグザク行進を続けていつた。

プラカードには眼前に迫つた「小選挙区制への反対」「憲法改悪の反対」「原水爆禁止」「原子力平和利用促進」などのスローガンが多く、「戦争反対、平和擁護」の掛け声をかけながら新宿西口の北部コースを行進した。

写真　第二十七回統一メーデー

動き

【フランス文学研究会】
当部では次の如く研究会を行つている。

新入生ゼミナール　新入生を対象として毎日十二時より初級文法を研究する。

中級ゼミナール　二、三年生を対象として、月曜のみ行う。テキストは「青春読本」（佛語）

火曜日には「エトランゼ」研究、水曜日には「ヴエルレーヌ」研究木曜日には川村教授を講師に迎えて中級文法を研究する。テキストは杉捷夫著「フランス文法」

金曜日には「ボードレール」研究

【映画研究会】
六月四日タツカーホールにおいて映画会を催す。「陽の当る場所」及び短編映画「アメリカ大学生活」主催は学生部で、会員券は五十円であるが、これは奨学資金に当てられるものである。

【YM（YW）CA】
五月十二日、YMCA・YWCA同盟新入生歓迎会を明治学院において開催

五月十九日BSAとの共催新入生歓迎会

【ワンゲル】
五月十八日、新人トレーニングを目的として、那須山へキヤンピングを行う。

【グリークラブ】
去る四日、日本青年館において行われた福岡合唱協会東京演奏会に男声のみが賛助出演した。

六月九日、同志社・立教グリークラブ第八回交歓演奏会をタツカーホールにおいて六時半より開催する。会員券は百円と百五十円。

【文芸部】
詩集、セントポール文学発行、今月末予定。

【国際情勢研究会】
国連学連都本部主催、交換研究会に〃中近東諸国とナショナリズム〃のテーマで研究発表。

五月十九日、日本女子大にてアジア政治問題について。講師、西野照太郎、又は、岡倉古志郎予定。日時は未定。

【芸術研究会】
美術　週月・土にデッサン会。オール・ミツション美術展を開催、青山学院、明治学院、上智、関東学院、立教各大学参加。五月二十五—三十一日、学食。

【ハーモニカソサエティ】
レコード・コンサート（ハーモニカ）を開催、日時は未定、三十五番教室。

【硬式野球】五月十二、三日法大—立大、東大—明大、五月十九日二十日、立大—慶大、早大—明大東大—法大

【ボクシング】関東ボクシング大会は来る八日から二十九日まで田園コロシアムで開かれる。▽八日立大—慶大、明大—早大▽十四日立大—神奈川大、農大—明大▽二十一日立大—専大、明大—日大▽二十九日立大—法大、明大—中大

【水泳】恒例の日立明三大学対抗は月七日神宮プールで行われる。

【レスリング】来る十九日より十日間青山体育館で行われる。」

第八十二回
創立記念式典行わる

第八十二回創立記念式典は、去る五日、九時よりチヤペルで礼拝が行われ、十時よりタツカーホールで多数の学院関係者を迎えて盛大に挙行された。

式はまず森脇教授の開会の辞にはじまり、竹田チヤプレンの祈祷、後藤チヤプレンの聖書朗読、八代理事長の式辞と進行し、二十五年以上勤続者表彰に移つた。表彰された泰総務部長、網本人事課長が感慨深げな面持ちで栄誉をうけたのち〃栄光立教〃が高らかに斉唱され、再び森脇教授の閉会の辞で盛会裡に幕を閉じた。

須之内品吉述
商法講義案
＝近日発売＝

スターリン批判について

外務省事務官 今井正氏講演

去る二十六日三十四番教室に於て外務事務官今井正氏を招いて「フルシチヨフ・ミコヤン発言をめぐるスターリン批判」についての講演会が行われた。フルシチヨフミコヤン発言から今井氏はソヴイエト巨頭間の勢力関係とイデオロギーの問題又各共産主義国家に及ぼす影響について論じた。次いで第二十回党大会においてはフルシチヨフが世界平和の問題として戦争の可避性を強調し、現国際情勢下において妥当性を失つたスターリン主義を批判し、世界の注目を集めていることを述べ更にミコヤンが演説に於て昨日までの英雄スターリンの名を上げて批判して世界中を驚かせたがこれはスターリンの名をかりて現在のソヴイエトを自己批判していると思われ、それに対する共産主義色の強い西欧諸国の反響としてフランス、イタリー、特に一時チトーの離反としてスターリン主義の妥当性を失つた一つのエポツク・メイキングな象徴的な事件を起したユーゴスラヴイアにおいて今後の出方が特に注目されていることに言及した。この演説においてフルシチヨフは平和共存の問題と各国における社会主義への移行がそれぞれ條件に応じて独特な形を取り得ることをあらためて強調し、フルシチヨフの創造的発達なるものをもつて今後ソ連が世界に新しく踏み出す第一歩として注目されている

建設打合せ

綜合グランド

去る七日五時より、ライフスナイダー館において綜合グランド建設打合せ会が行われた。この八名の建設小委員（委員長松下総長）と十四名の財務委員（委員長名倉学院理事）出席のもとに大口寄附、追加工事（脱衣所等）落成式の日取り等について意見が変わされた。

〃憲法改正〃講演会開く

自民党中曽根氏欠席

さる五月二日午後三時よりタツカーホールにおいて、文化会有志団体主催の講演会〃憲法をめぐつて〃を開いた。講師は社会党代議士淡谷悠蔵氏、自民党中曽根康弘氏の予定だつたが、中曽根氏欠席のため、淡谷氏のみの講演となつた。級委員会の伊藤君の司会に始まり、拍手の内に淡谷氏が演壇に立ち、はげしい口調で講演、四時十分終了した。

要旨は次の通り……

憲法改正の問題は、国会で種々討議されてきて、益々分らなくなつてきたのである。憲法が破られているという現在の事実と改正はしないという政府側の答弁の矛盾が吉田内閣当時からあつたのは事実である。白を黒とする国会の論理は国民に通ずるはずはない。政府の憲法改正の目的は、第九條戦争の放棄の点にあることは疑いのないことである。諸君、侵略に恐れて再軍備するのならば、もう始つている侵略をどうするのだ。砂川の闘いが真の独立日本の姿なのである。小選挙区法案もわれわれの必死の抵抗、ならびに世論の絶大な力添えにより、今国会を通過できない。今後ともわれわれは決死的な気迫をもつてこの信念を貫き通していく積りである。

なお講演ののち、氏は学生の質問をうけた。

問　保守党の数の暴力に対抗して野党はもつと結集すべきではないか……

答　その点に関しましては御安心下さい。現在では左右両派議員は区別出来ない程固つております。

問　アメリカの援助なくして、今日の日本は出来なかつたと思うが、社会党の言うように、アメリカを排除して、これからの日本は、どうなるのか

答　私は国際的援助の問題は、とやかく言つておりません。

問　ニュースやラジオで見聞する国会議員のあの暴力沙汰について……

答　代議士という職業ほど悪口を言われるものはない。ジヤーナリズムは、興味半分に、かつさいを受けるところしか表わしていないのではないか

抵抗の限界は限られている。あの抵抗より大きな不幸が国民の上に覆いかぶさることを思うとわれわれは、じつとしてはいられないのだ。

写真は淡谷悠蔵氏

むらさき会第二回公演

〃女の一生〃

来る六月十三、四日の二日間、白木劇場において森本薫作「女の一生」（五幕）が公演される。

宮川 山田 ゼミナール新設

研究課題は未定

かねて級委員会内のゼミナール対策実行委員会でゼミナール参加を希望する学生数に対して、ゼミナール数不足の問題を学校側と話合い下坂、岡野、水田、山田、宮川（宗）ゼミ増設を望んで来た。下坂、岡野、水田ゼミは希望者が少なかつた為に設置出来ず、新学期より「生産管理・市場論」の宮川宗弘講師、「近代経済学」の山田項講師の二つのゼミナールが新設された。まだ研究課題を発表していないが、これで最近切実な問題として解決が急がれていたゼミナールの増設問題は幾分緩和されたことになる。

「事業会館」建設に思う

◆正門の前にパリツとした、立教事業会館なるものが落成した。いたれりつくせりである。この会館の中で立教発展の様々なプランが着々と進められ、又立教生の旅行熱に一層輪をかけるであろう。だがそれが果して身近かに我々学生々活を豊かな充実したものにするであろうか。

学校内容は図書館を見ればすぐわかると思う。その肝心な図書館も本学では不備だらけである。その上、せつかくのタツカーホールも我々の寄附金で建てたのに高価な使用料をとるので思うように利用出来ない。学校の周囲のコーヒー屋やマージヤン屋が繁盛するのも当然である。事業会館が全く無用の長物だとは思わない。だがまだ先に解決すべきものがあるはずである。例えば気軽に容易に会合が出来る学生会館というようなものも必要だと思う。どうも学校当局の一人よがりにしか思えない。最近の級委員会の公開質問状に対する学校側の返答がまた示されないのも我々の要望に応えようとする熱意に欠けているからではないか。総長が学校行政視察のため渡米したそうである。その成果が私学運営や学校制度そのものにあらわれることも結構である。しかしもつと広い視野に立つて即ち我々学生の立場にも立つてより楽しく有意義な生活が送れるようにその手腕が発揮されることを今から望む。

（二年男子）

◆正門前に立教事業会館ができた事を私はうれしく思います。他大学に於ては消費組合があり、早くこのような組合ができる様に望んでいました。交通公社で交通関係一切を取扱つて下さるので、授業の合間に行けるし、他商品でも安価で買える事は学生にとつてはうれしいことです。昼食をとる時に、あの広い学生食堂でさえ満員となり、何かと不便をきたしていたのをおぎなつてくれる事でしょう。定期を買う場合に、月末になると混んで駅では仲々買えません。また、旅行に行く場合でも今までは思う様にできませんでした。いろいろな場合に、今度の会館は立大生にとつて大いに役にたつてくれるだろうと考えております。また、私達学生にとつて、休講や昼休みの憩いのひと時をこの会館が楽しく過させてくれると確信しています。

（一女子学生）

× × ×

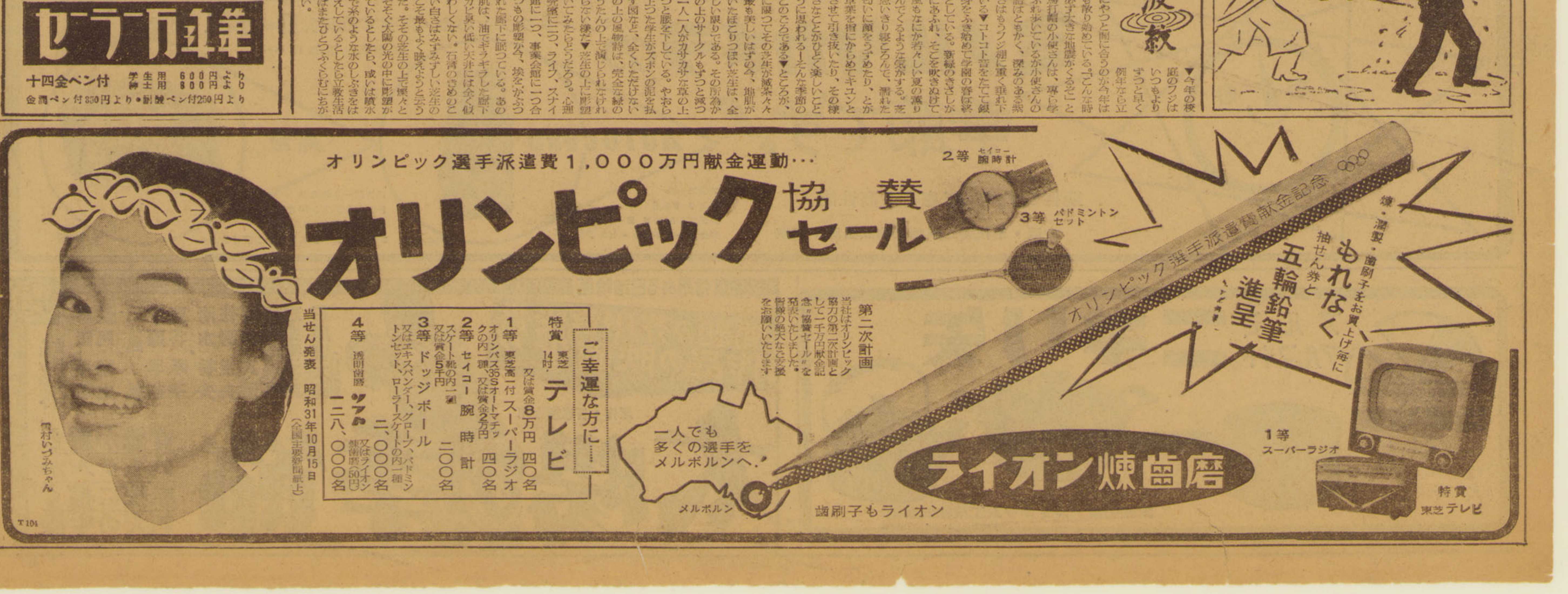
波紋

▼今年の校庭のフジはいつもよりずつと早く例年なら立教祭にやつと間に合うのが今年は早くも散り始めている。「こんな時は、必ず大きな地震がくるぞ」と例の鳥打帽の小使さんは、専ら学生にふれ歩いているが小使さんの夢物語はともかく、深みのある紫のふさはもうフジ棚に重く垂れ下つている▼コトコト音をたてて銀杏が芽をふき始めて学園の春は終ろうとしている。新緑のきざしが若葉にあふれ、そこを吹きぬけてくる風もなにか若々しい夏の薫りを運んでくるような気がする。芝生に思いきり寝ころんで、濡れた草の匂いに顔をうずめたり、とがつた草葉を指にからめてキユンと音をさせて引き抜いたり、その様な小さなことがひどく楽しいことのように思われる—そんな季節の今日このごろである▼ところが、今年に限つてその芝生が滅茶々々その最も美しいはずの今、地肌がのぞいたぼこりつぽい芝生は、全く寂しい限りである。その所為か芝生の上のサークルもずつと減つて、一人一人がカサカサな草の上にそつと腰を下している。やおら立ち上つた学生がズボンの泥を払い落す図など、全くいただけない芝生の上の風物詩は、完全な緑のじゆうたんの上で演じられなければならない様だ▼芝生の上に彫塑を置いてみたらどうだろう。心理学研究室に二つ、ライフ、スナイダー館に一つ、事業会館に一つ合計四つもの彫塑が今、埃をかぶつて汚れた廊下に眠つている。あの白い肌は、油でギラギラした廊下や、カビ臭い低い天井には全く似つかわしくない。石膏のきめのこまかい白さはみずみずしい芝生の緑にこそ最もよく映えようと云うものだ。そその芝生の上で燦々とふりそそぐ太陽の光の中に彫塑が立つているとしたら、或いは噴水の下で糸のような水のしぶきをはねかえしているとしたら立教生活の夢はまたひとつふくらむにちがいない。

カレッヂマンのダンス
この切ヌキ御持参の方は特典があります
戸塚ダンス教室
高田馬場駅前交番ヨコ

耐久力今までの10倍
新ペンポイント完成!!
日本工業規格品・工業技術院賞受賞
セーラー万年筆
十四金ペン付　学生用 600円より　紳士用 800円より
金需ペン付350円より・耐酸ペン付250円より

〃アサヒビールはあなたのビールです〃


オリンピック選手派遣費1,000万円献金運動…
オリンピック協賛セール
2等 セイコー腕時計
3等 バドミントンセット
ご幸運な方に……
特賞 東芝14吋テレビ 又は賞金8万円 四〇名
1等 東芝高一付スーパーラジオ オリンパス35Sオートマチックの内一種、又は賞金2万円 四〇名
2等 セイコー腕時計 スケート靴の内一種 又は賞金5千円 二〇〇名
3等 ドッジボール 又はエキスパンダー、グローブ、バドミントンセット、ローラースケートの内一種 二、〇〇〇名
4等 透明歯磨 ツアー 又はライオン煉歯磨(50円) 一二八、〇〇〇名
当せん発表 昭和31年10月15日（全国主要新聞紙上）
第二次計画
当社はオリンピック協力の第二次計画として一千万円献金記念〃協賛セール〃を発表いたしました。皆様の絶大なご支援をお願いいたします
煉・潤製・歯刷子をお買上げ毎に
もれなく抽せん券と五輪鉛筆進呈
1等 スーパーラジオ
特賞 東芝テレビ
ライオン煉歯磨
歯刷子もライオン
オリンピック選手派遣費献金記念
一人でも多くの選手をメルボルンへ。
メルボルン
雪村いづみちゃん
T104

憲法改正をめぐって

中村哲氏を囲む座談会

出席者（敬称略）
本学講師　中村　哲
経済四年　佐藤　晴郎
同　四年　石川　庄次郎
同　三年　藤森　雄司
同　一年　谷田　権
司会　編集部・石井、臼井

司会　憲法改正問題についてはすでにいろいろ論議されておりますが、改正点である再軍備、天皇元首、家族制度の復活などは私達学生にとって最も身近に感じられる問題です。そこで、中村先生のお話を中心として学生がこれらの改正点のそれぞれの問題についてどう思っているか話しあって戴きたいと思います。まず中村先生から憲法改正について簡単な説明と御意見をお願い致します。

中村　マッカーサーが作ったというが、日本政府がポツダム宣言を受諾した以上、その中に基本的人権の尊重、民主主義の復活強化軍隊の解体が示されていたのだから、そういう原則に基く民主的憲法をつくらねばならないのは当然だった。それを日本政府はサボツたんですね。サボツたというよりは、当時の政府は国体の護持、天皇制を護持するために、天皇制中心の憲法草案をつくつたんです。ところがこれに対してかなり強い反対がみられたので、司令部としても、民政局に憲法の起草を命じた訳です。恐らく日本が本当の民主的な草案を作つていたら日本側草案は受け入れたでしょう。その上議会で充分に検討したのだから、一応国民の作つた憲法だといえます。マッカーサー憲法だというが、その憲法をかえるとなると、占領下とはいえ、国民の意志を無視するということになる。さらに改正案をみると、人権を制限したり、天皇制復活、再軍備をするなど、国民の立場を押さえつけようとしているんです

佐藤　憲法改正には限界があるのではないですか。

中村　学説としては限界をいうが、しかし憲法上の学説は、もしその限界を越えて改正したからといつて、それを違憲として問題には出来ません。世論としては問題に出来るが、制度としては違憲には出来ませんね。

司会　改正の問題点を具体的に説明して下さい。

中村　軍隊を設けるようにしようというのは、本来米国から出た憲法改正なのだから当然です。その場合、自衛権を発動しうる小規模な軍隊を持つというが、そのような制限は憲法の規定では出来ないんです。軍隊を設けば結局侵略のために使い得る。もつと重要なのは地域的集団保障の体制に入れば、アジアの何処かで戦争が起きたときこれに日本の軍隊が出動するのは当然となります。日本の防衛ではなくアジアで起つた戦争に出動させられますよ。まさにそれが米国の要求するところでそこに問題があるんです。

司会　みなさんは再軍備についてどうお考えですか。

谷田　直接戦争前の教育を受けていないから戦争前の状態を身にしみて感じていないのですだから、今の民主的なものを全て当り前のものとして受けとつている。勿論、戦争も嫌いだし、兵隊にも行きたくない、自分の国を守るという義務感などは全然ありません

藤森　私は家族制度を復活しないで、兵隊を雇うようにしたらよいと思う。徴兵制などというと何か元の軍国主義に戻るように感じられるのです。

司会　すると志願制なら軍備もいいということですか？

改正は国民の意志か！

搖らぐ民主憲法の基礎

藤森　いや、勿論しないに越したことはないんです、唯、どうしてもしなければならないという時志願制ならやむを得ないと思うのです。

佐藤　私はこう思うんです。今の憲法では自衛隊が違憲だ。だから憲法を変えようといつている。今の憲法が違憲なら、そうでない様にしていこうというのでなければならない。そういう改正論に惑わされてはいけないと思うのです。民主主義の危機だといわれるが、私は日本の危機だと思うのですが。

石川　今、国連などでも軍縮問題がとりあげられて世界全体が軍縮の方向に向つている。こんな時後から無理に息を切らして追いかける必要は全くないと思うのです軍備のないのが却つて幸いで軍縮の最先端に立つて他の国々に呼びかけるべきだと思います。

中村　この他、基本的人権を法律で制限し得るようにしようとしている。そうすれば、憲法に違反した法律を最高裁でとりあげられなくなる。また公共の福祉を維持するためにするというなら結構だが、公共の福祉を増進するためにという点に重きを置くと、ナチスの如きいわゆる公益優先的傾向が強くなる。しかも、それが法律でなされるということは危険です。法律でも制限できぬ、人間が生れながらに持つているのが、人権思想、言論の自由です。

一体に自民党の改正点発表はボカしている。家族制度でも考慮するといつているが、それをどう変えるかは言つていない。本当の具体的な問題には触れていないのです。そこにごまかしがある。人権の問題についても男女の平等の本質を変えようといつている。それから、戸主中心の家族制度に戻そうとしているんだが、世の中は自然に民主化してゆくわけだから法律で縛らねば出来ない。上下関係の家族制を残してゆこうという傾向がつよいわけですね。

今の憲法は余り権利が多く、義務が少いからもう少し義務を増そうというが、例えば「教養の義務」などというものは道徳上の問題であつて、法的に決するものではない。法律というものは、それに違反すれば刑罰を課するということになるので、そういう感覚は第一ににおかしい。（爆笑）

佐藤　一つには長子相続にした方がいいということらしいんですが、実際に農村などにしても兄弟同志の話し合いでかなりうまくやつているし、それを今更改正しなくてもよいと思いますね。

石川　農村の問題などについて「今でも狭い土地をこれ以上兄弟に均衡に分割したらみんなが餓死することになる」などといつておるのですが、これは結局、次男、三男の犠牲の上に農村を維持していけということになるのではないですか。

中村　農地が分割されるということで長子中心にしようといつているが、土地を分けなくても、金にしても分けられる。つまり長子戸主につながる保守政党の地盤があるわけで、それは保守政党の農村における地盤を確立しようということなんだ。

司会　天皇制についてはどうでしょうか。

中村　天皇を元首にもどすということが問題となる。元首の概念はいろいろだが、天皇が主体的に政治に関与し、代表者になることを意味する。元首は権力を代表する。戦争宣言、非常時態宣言などは天皇の名において行われた。天皇制について自民党側は天皇制になつても、実際には内閣がやるんだから、といつているが天皇が主体的に決めることになり内閣がいわば陰で決めるということになるそこで内閣が独裁になるというそのことが問題だ。天皇はそれ自身無力であつて、その権威のみが利用される。軍隊でも吉田、鳩山さんなどは指揮官の地位にふさわしくないとしても、天皇ならば権威づけられる。そこに天皇の名を使うということになるんだ。

谷田　私は前の天皇が一体どんなものだつたかを知らない。だからそれをどうこういうわけにはいかないのですが、何となく天皇が自然消滅的なものと考えてしまいます……。

石川　確かに私達より下の世代の人は天皇などについて殆ど考えてませんね。ただ子供心に見た御真影の天皇の写真と、全く無力な現状とが頭にあつて何か可哀想だぐらいにしか考えていないようです。だから皇太子にしても美空ひばりや錦之助と一緒に並べて人気投票をやつてるが単に憧れの対象となるのでしよう。

藤森　とも角、昔は無我夢中で崇拝していた。天皇を批判する人など全くいなかつた、もつともそんな事は出来ませんでしたが……。所が戦後、アメリカから天皇制に対する批判が出てきて、はじめて考えるようになつた、もつとみんなが批判的な眼で天皇というものを見たらいいと思う、歴史的に見て、今度の元首説が昔のものに戻る危険が十分感じられますね。

石川　私なんか寧ろ天皇制に反対です。学生の中でも大分多いんですが、昔植えつけられた考え方から未だに脱けきれない、理屈では解つていても天皇制廃止を叫ぶ程の勇気はないし……。

司会　その他ではどんなことがありますか。

中村　国会の問題については参議院の全国区を変えようといつているがこれは全く政治的なものです。現在では労働組合の人たちが組織的な勢力をもつて進出しているから、これを押えようとしているのではないでしようか。また一部推せん制にしようといつているがそれは都合のよいようにすることです。最初は参議院は民主的な押えになつていたが、近頃はそうではなくなつた。また地方自治体の長の公選をやめて官選にしようといつているが、これは官僚主義の復活ですよ。

司会　でも、現状では自民党が多数の力で憲法を改正しようという方向に進んでいますが。

中村　今のようにマスコミのもとで行われている選挙では、デマゴーグや顔で票を集める保守党議員が多い。しかも選挙では不利だから憲法改正をいわなかつた。だから少くとも憲法改正については国民の意見を反映していなかつたんです。今後、憲法改正に反対する人は自分の身内の人から説得にかかり、大きな世論を作りあげていかねばならないと思いますね

赤外線

変則的な読書

戦後の青少年は本を読まぬとか、私達が子供の頃はもつと古典を読んだものだ、という識者の声はよく聞く。だが昔と違つて今では読書に適する高校時代は、灰色の参考書以外はオフリミットだ。そして二年も三年もの変則的な受験勉強後入つた大学にも、まともな読書の機会は与えられぬ社会状勢がその行手をふさいでいる。更に不らちな出版屋は待ち構えて、出来るだけ手取り早い古今の名作をダイジェストにして刊行する。ジユリアン、ソレルもラスコリニコフも三、四頁に手際よく処理される。造作なくスタンダールが読破出来、ドストエフスキーが卒業出来る仕組だ。ベストセラーにはタネもの随筆がずらりと並び、軽評論が顔を利かせ、性書が踊つている。週刊誌は全盛を極め、表面的なことは全て間に合う。テレビは一般化し子供は夢中だ。〃坊ッちやんが赤シャツにぶつけたユデ卵の快感は、今外人選手を投げ倒す力道山の空手チョップに変つてしまつた。アンデルセンを知らぬ子供も〃オテナの塔〃には何と詳しいことか。確かになんでも読めるのだ。しかしそのことが実はよつてたかつてなにも読めぬという事実を拵えあげている。その逆流に気付かぬ、いや気付いたとて最早どうにも抜差しならぬ便利主義が次第に人間の思索活動を破壊してゆく。（青電車）

文化

碧い眼の学生批判

うちとけぬ日本の学生

G・S・レーマン

私は、日本の大学生や学生生活の種々相についての印象、特に、立教大学の学生や学生生活についての印象を、書くようにと、依頼されました。御承知のように、私は、一外国人（アメリカ人）であります。当然、私の印象は、私の見て来たアメリカの大学や学生生活との比較に、色ずけられがちです。この比較によると、ある点では（立教大学生に対して）好い印象を受け、ある点では、あまり好い印象を受けません。私は、およそ、二年間にわたり、立教で教鞭を取つて来ました。ですから、ここの学生や学生生活を、多くの角度から視察することが出来ました。

制服も女子学生

一つの大変明らかな相違点は、学生の外観です。アメリカの大学生は制服を着ませんから、日本の男子学生が制服を着用しているのを見て、最初とても奇妙に思いました。でもこの習慣には直ぐ慣れましたし、今では寧ろ好きになりました。制服は、学生が小ざつぱりと、身なり正しく見えます。これは、アメリカの若い人達の間では、必ずしもそうではありませんけれども、制服着用の習慣には、二、三の好ましくない点がありまます。その一つは、学生がクリーニングへも出さず、アイロンもかけない制服を、余儀なく着ていることです。

立教の女子学生の外観についての私の印象はといえば、非常に好ましい、というだけに止めておきましよう。彼らのヘヤー・スタイルや容貌は、大変魅力的です。要するに、私は今のままの「ジョシガクセイ」が好きです。彼女たちは、アメリカの女子学生と匹敵すると思います。

眞面目だが……

けれども外観に関する、これらの事実のすべては、寧ろとりとめないことです。それらは、第一印象にしか過ぎません。気質や性格について一般のアメリカの学生と比べると、日本の学生は、一段と理解しにくいように感じます。日本の学生は、アメリカの学生よりも目上の人や先生に、多分ずつと鄭重ですが、それだけに、ずつと打ちとけないし固苦しいし、親しみにくいようです。

私の評価によれば、教室や研究室における一般の日本の学生は、奇妙な性質の塊りです。研究室では一般のアメリカの学生よりも、ずつと真面目で勤勉な学生が、一方では、教室やかなりの大きさの集会における行いが、あまりよくないのです！（どうか、私が「一般の」学生について話していることを思い出して下さい）たとえば、行儀の悪い学生は、学課や講義に注意を払わなかつたりしてはいけない時に隣りの学生と話したりして、質問をされると、しばしば隣りの学生と相談をしたり、援助をしてもらつたりします。

一般のアメリカの学生は、同学年の日本の学生よりも、大体一歳年が若いのですが、このような振舞いはしません。私はどうもこう感じるのですが、概して、教場や実際に教場の外においても、仕事をする上で、アメリカの学生は、日本の学生よりも間違いが多く、独創力がいくらか少いようです。

日本の学生の性格に関連して、私が立教で観察した、もう一つのことをつけ加えなければなりません。それは、彼らの親切なこと、他人に援助を惜しまぬことです。

この点に関して、私は、アメリカの学生と比較して立教の学生に非常に好い印象を受けました。ここでは、学生の間に、気持のよい協同作業が行われているようです

男女学生の交際

おそらく、立教とアメリカの大学の学生生活の最も大きな相違の一つは、私の注意したところによると、男女の学生間の関係だと思います。まず、女子学生のパーセンテイジが普通アメリカでは、もつと高いのです。それから、こちらよりも、男女がもつと交際し合つているようです。男女のグループのためのパーテイや、ダンスパーテイが、もつとあります。

恵まれぬ学生生活の場

学生生活が、学生が生活する場所に大変影響されるのは、事実だと思います。つまり、学生が、学校にどれ程遠くから往復しなければならないか、校外で学生が、どんな状態の下に学問をしなければならないか、などということですが、この点、日本の学生は、寧ろお気の毒に思います。一般に、大学に近接して、寄宿舎や、学生会館（Studyhalls）が非常に少いので、学生にとつて、これは大きな問題です。

アルバイトについて

また私の印象では、相当多くの日本の学生は、アルバイト稼ぎを余儀なくされています。そして、それは将来の仕事のために、学生を訓練するのに役立つかも知れませんが、にもかかわらず、学生を学問から遠ざけ、それ以上に、しばしば健康にも大きな支障を来たす結果になるように思います。

多難な日本の学生

概して、日本の学生は、アメリカの学生と殆ど同じです。彼らの生活、つまり学生生活もまた、課外活動に関する限り、全く変りがありません。他の点については、日本の学生生活は、アメリカの学生の学生生活よりも、かなり困難であり、多くの問題があるように思います。けれども、立教の学生は、それらの問題を克服できると、私は思います。

（筆者＝Gene. S.Lehman 本学教授、昭和廿九年宣教師として来日）

◇訳は英米文学科中川一郎教授

ゼミナール紹介

井上ゼミナール　日本農業の現実と取り組む

日本農業は極めて複雑な「顔」多岐なを持つている。これらの複雑な諸問題を正しく理解し且つ単に解釈するというだけでなく解釈して行くためには、農業問題と社会的生産の全機構のうちに把え、資本主義の発展の問題として考えるという、真に科学的な理論の体系を持たなければならない。

井上ゼミナールは当年とつて二歳に成長し現在十九名から成つているが、昨年度に引きつづき「日本資本主義における農業問題」をテーマに、変転極まりない日本農業の現実と取り組みつつ、農業理論の正しい把握に励んでいる。昨年度は特に戦後の民主化政策の一環としての農地改革の評価など今日の話問題を中心に研究を続けて来たが今年度は我々の研究の成果を何らかの形で発表したいと思つている。テキストには井上晴丸先生著「農業問題入門」。今年度はK・カウツキー「農業問題」を選び週二回のサブゼミを設け、リポーター制をとつて活発な討論を行つている。チームワークの良いことについてはすでに定評があり、折にふれ催されるコンパや旅行などの際には期せずして「しあわせの歌」の大合唱がまきおこることもある。

山本　教授

井上　講師

山本ゼミナール　二方向から「自立経済」を

日本は独立国であるか、また植民地であるか、議論はやかましい。たしかに形式的には日本は独立した。だがその内容は、本当の独立国であるとは誰もいうまい。日本の経済が自立し、本当の独立国になることは我々日本人の切なる願いである。山本ゼミナールはこの「自立経済」の問題を今年度のテーマとすることになつた。

ゼミナリステンは大きく、理論を研究するものと、具体的に日本経済の実態を分析するものの二つに分かれる、前者は日本経済自立の理論を研究するものであり、後者は、紡績、自動車、鉄鉱等各産業部門別に自立経済という立場から実証的に調べていくのである。

山本教授は本来理論が専門であるが、今年度は、具体的事実の中に理論を生かしたいという構想である。

成員はほとんどが三年生で十名内外、人数も理想的である上、三年生ばかりだからすべてがこれから。全く未知数であるが、すべては今後のゼミナリステンの努力にかかつている。

枝想一随

オリンピックの年に

織田幹雄

オリンピックの間の四年が、実に早く過ぎ去るように感ずる。たつたこの間、ヘルシンキ大会を済ませたと思つたのに、もう今年はメルボルン大会である。

戦争前と違つて、毎年国際競技が行われ、海外に出かける機会が多くなり、休む暇なく一年が過ぎ去るからでもあろう。

日本のスポーツ界は、ヘルシンキ大会後の四年間に、非常な躍進を遂げたものである。世界選手権となずけられるものが、次々と開催されるなど、戦前には、思いもよらなかつたことである。

これらの大会で示される日本の実力については、何とか、国際水準を保つているけれども、スポーツ界全般を考えると、世界スポーツ界に比較して、戦争前とは、かなり日本の力が低くなつているのに気付くのである。

世界のスポーツ界の進歩は、戦後に、それぞれの国の力で、強化されていることを見逃せないのである。

中でもソヴエトとその衛星国などでは、スポーツは国策としてとりあげられ、オリンピックもその一つである。スポーツを科学的に究明して、これによつて選手強化も計られている。それが、良いか悪いかは、別として、好きなものだけの微力でやつている日本は、ますます世界から、引き離されるだけである。

（筆者＝おだ・みきお、元オリンピック選手、朝日新聞運動部）

映評　日活作品

雑居家族

〃滲み出る人間愛〃

この映画壷井栄原作だけに例のごとく悪人は一人も出てこない。あばずれで、向うみずの田舎出の小娘浜子にしても、性なしのやつかい者兵六にしても、それぞれ周囲の人たちを手こずらせ、迷惑ばかりかけているのだがどうにも憎めない。どちらにも他人ごとでない人間の弱さ、哀れさが滲み出ているからだろうか。その辺のペーソスやユーモアを久松静児は手慣れた俳優を使つてソツなく演出している。俳優はいつも久松についている連中が多いだけに、皆いい気持そうにやつているが左幸子伊藤雄之助の演技はオーバー・アクト気味、どちらもアクの強い個性だけに気をつけなくてはなるまい。女流作家小森安江は自分の子供でもないのに三人も引取つて育てている。

それに夫と、田舎から家出して来た遠縁の娘浜子と、転がり込んだ下宿生斎木と七人、これを指して〃雑居〃と云うのだろう。一寸ブルジョワじみたところが気にはなるが、安江一家はみんなお人よしだ。中でも安江は際立つている。妊娠した浜子に無心され、可哀そうだと云つて医者に行く金をやつてしまつた音枝を「お前はバカだよ、バカでしようがないよ」と叱りながらもその子に満足している。末の男の子を怒りはしたものの、裏の丘の秘密の穴にこもつてしまつたのを心配して穴の前で「おとりつこなーしよ、五つすむまにでーてこい、一つ…二つ…」と呼びながら夕暮れの中で待つてやる。夏樹をかい抱いて涙を流すその安江に母の美しさを見た。しかもそれは実の子ではないだけにその愛情は一きわ美しい。適当に笑わせ、適当にホロリとさせてくれる。ゴールデン・ウイークの佳作である。（臼杵）

新宿に高級喫茶の殿堂出現
マイアミビーチの雰囲氣で
どなた様にも親しめる店
純喫茶
マイアミ
新宿店
音樂は最高級ＨＩＦＩ使用
新宿角筈一ノ一（ムサシノ通リ）
TEL(37)4982・9570

Japan's Only Afternoon Newspaper
ASAHI EVENING NEWS
¥200 Per Month　4 Pages ¥5　8 Pages ¥10

ノートも手紙も美しい字ですらすら……
丸善アテナインキ
ATHENA INK
30円・50円　全国有名文具店にあります

ミノルタカメラの季節です！
期待のすべてに應える高性能！
大阪・千代田光学精工株式会社・東京
ミノルタフアンの友・月刊写眞雑誌ロッコール　発賣中
御申込は取扱店へ……
AUTOCORD
ロツコール
75ミリ F3.5
シチズンMXV B—1/400
完全オートマツト・セルフ付
¥29,800
A・2
ロツコール45ミリ
F3.5 シチズンMXV
レバー式捲上 セルフ付
ブライトフーレムレンジフアインダー
¥19,800

アルミ
アルマイト
ニギリ矢
TRADE MARK
ニギリ矢
東京那須アルミニウム工業株式会社

日活 日活 信用ある日活映画 日活 日活
問題の芥川賞受賞作品の映画化！！
原作・石原慎太郎
太陽の季節
背徳か新しいモラルか赤裸に描く若人の生態
・脚本監督・古川卓巳
南田洋子
長門裕之
三島耕
中原早苗
東谷暎子
清水将夫
佐野浅夫
岡田真澄
坪内美詠子
石原裕次郎（新人）
石原慎太郎（特別出演）